

平成 23 年 2 月 3 日

高揃小学校保護者のみなさま

天童市立高揃小学校長  
村 形 啓 行

## 今年度の高揃小学校についてのアンケート

新年を迎え、皆さまにはご健勝のこととお慶び申し上げます。常日頃より温かいご支援を賜わりありがとうございます。

さて、今年度もあとわずかとなり、その成果や課題をまとめ、次年度への計画を立案する時期を迎えております。そこで保護者の皆さま方より、本校が今年度取り組んだ教育、学校運営等についてご意見をいただき、より良い学校づくりへ活かしてまいりたいと存じます。例年、アンケートの形式により広範囲に渡る分野についてご意見をいただいているところですが、より具体的なものとしてほしいと考え、今年度の学校づくりに向けた本校の教育目標に基づき、子ども達よりのアンケート及び私たち教職員で行った今年度の反省についてお伝えし、より柱を絞った形でご意見をいただきたくお願い申し上げます。

### 【今年度の高揃小学校教育目標】

“「心」「知」「いのち」「信頼」の泉湧く ましみずの学校づくり”を通し、自分に自信を持った「輝く自分」を目指す

つきましては、下記をお読みいただき、別紙アンケート用紙にご記入の上、各クラスの担任までご提出願います。大変お忙しい中申し訳ございませんが 2 月 10 日（木）までご提出願いますようお願い申し上げます。

### 【子ども達のアンケート結果より】

「あなたは 学校にいるとき、どの時間が一番楽しいですか。」

	授業	休み時間	給食	掃除	その他
全体	12.4	67.9	19.7	4.7	2.1
男	8.1	66.3	20.9	5.8	1.2
女	15.9	69.2	18.7	3.8	2.8

当然と言えば当然の結果ですが、子ども達の多くは、各学年共に休み時間を楽しんでいると強く感じています。休み時間に安心して過ごすことができている表れであり、友人との関わりも良好な結果であると考えています。学年による差はないものの、1年生の女子は 50%が楽しいのは授業であると答えています。小学校に入り、勉強したいという期待の表れではないでしょうか。

「授業は楽しいですか？」

	すごく楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
全体	52.8	39.9	4.2	2.6
男	47.7	39.5	7.0	4.7
女	57.0	40.2	1.9	0.9

どの学年においても「授業は楽しい」とほとんどの子どもが答えています。「楽しい」と「まあまあ楽しい」を合わせると90%超の子どもが選択しています。また、男子に比べ女子の方が授業へ楽しいと感じる割合が高いようです。しかし、「楽しくない」と答えている子どもがいることも事実であり、その思いに応え、学びがいのある授業を作っていくようにさらに授業改善に取り組んでまいります。

「授業ではわかるまでねばり強く取り組みましたか」(3～6年)

「じゅぎょうは わかるまで がんばれましたか」(1～2年)

	取り組めた	まあまあ	あまり取り組みなかった	取り組みなかった
全体	48.2	38.3	11.9	1.55
男	45.4	38.4	14.0	2.3
女	50.5	38.3	10.3	0.9

「授業中に、すぐ答の出せない問題がありました。あなたはどうしますか？」(3～6年のみ)

	一人でがんばって	休み時間友だちに	家に帰ってから	できないままにする	その他
全体	30.2	38.8	19.4	0.8	12.4
男	38.9	24.1	29.6	0.0	11.1
女	24.0	49.3	12.0	1.3	13.3

「勉強がわからなかったときどうやって解決しましたか」(いくつでもいいです)(全学年)

	前の解き方を思い出す	友だちと話し合う	一人でいろいろ考える	教科書を見る	友だちの解き方を真似する	先生に聞く
全体	52.8	47.2	43.5	46.6	17.6	30.6
男	53.5	44.2	47.7	44.2	12.8	27.8
女	52.4	49.5	40.2	48.6	20.6	34.7

「一人一人の納得する授業」を目指し、日々の授業作りに取り組んできたつもりです。多くの子どもが何らかの方法で課題の解決に努力している姿が伺えることは大変うれしいことです。学年によってその傾向に特徴はあるものの、概ね男子は一人で努力し、女子は友だちと努力するように努めている姿が見られます。「前の解き方を思い出す」「一人でいろいろやってみる」「教科書を見て考える」の設問を、選択した子どもはそれぞれほぼ50%に上り、自分の力で何とか解こうと努力している姿が感じられます。

「自分からすすんで意見を発表できましたか」(全学年)

	発表できた	まあまあ	あまり	できなかった
全体	43.0	24.9	25.4	6.74
男	47.7	25.6	20.9	5.8
女	39.3	24.3	29.0	7.5

概ね多くの子どもが積極的に発言していると感じています。しかし、高学年の女子は発達段階の特徴もあるでしょうが、自分自身の積極性に自信を感じていないようです。発達段階だから、男女の違いだからと捉えて終わりにするのではなく、少しでも自分の考えを表明でき、自信を持てる授業の創造に努めていきたい。各学年で、「授業を楽しんでいるか」「授業にねばり強く取り組めたか」の設問と、この「進んで意見を発表できたか」には強い

関係関係がみられます。学年の特徴として捉えるだけでなく、各学級の一人一人の学習への取り組み状況を丁寧に見とって行きたいと思います。

「授業中に友だちの意見を聞くことはためになりましたか」

	ためになった	まあまあ	あまり	ならなかった
全体	77.5	19.4	2.33	0.78
男	75.9	20.4	1.85	1.85
女	78.7	18.7	2.67	0

「突然友だちが怒ってきました。あなたはどのようにしますか？」(3～6年のみ)

	負けずに怒って 言い返す	どうして怒って いるかわけを聞く	とりあえずあやまる	その他
全体	27.1	63.6	4.65	4.65
男	29.6	59.3	7.41	3.7
女	25.3	66.7	2.67	5.33

「遊び村や600年祭などで地区の方々と一緒に活動をしたり教えてもらったりしましたが楽しかったですか」(3～6年)

	楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
全体	78.2	15.5	4.2	2.1
男	82.6	12.8	2.3	2.3
女	74.8	17.8	5.6	1.9

「運動会やましまずフェスタなどたくさんの行事がありました。そのような行事の中で、自分らしく活躍できましたか」

	活躍できた	まあまあ	あまり	活躍できなかった
全体	75.1	22.3	1.6	1.0
男	72.1	26.8	0.0	1.2
女	77.6	18.7	2.8	0.9

多くの子どもが地域の方々との触れ合いや、教えていただくなどの関わりに満足をしているようです。一部の子どもに満足できなかった思いがあるようですので、一人ひとりの思いを大事にしながら、今後も地域との関わりを有意義なものにしていきたいと思います。

また、行事等の場面で、ほとんどの子どもが活躍できたと感じているようです。各学年とも「活躍できた」「まあまあ活躍できた」を合わせると90%超の子どもが満足している様子が伺えます。

「地域の中ですすんであいさつはできましたか？」

	あいさつできた	まあまあできた	あまりできない	できなかった
全体	65.8	24.9	6.7	2.6
男	59.3	27.9	10.5	2.3
女	71.0	22.4	3.7	2.8

昨年度の保護者の方々よりのアンケート結果では、まだ不十分であろうとの結果が出ていましたが、今年度の子ども達の結果では若干良い結果となっています。実態についてよく把握し、今後も継続的に指導に取り組んで行く必要があるものと思われます。

[ 家庭学習や、ゲームへの取り組み状況について聞きました ]

「家に帰ってからの学習はどのくらいしていますか？ だいたいの平均でこたえてください。」

「宿題 へのとりくみについて」

	必ず取り組む	まあまあ	あまりしない	ぜんぜんしない
全体	85.0	12.4	1.6	0.5
男	81.4	14.0	3.5	1.2
女	87.9	11.2	0.0	0.0

「復習 へのとりくみについて」

	必ず取り組む	まあまあ	あまりしない	ぜんぜんしない
全体	24.4	38.3	22.3	15
男	20.9	41.9	18.6	22.1
女	27.1	35.5	25.2	9.3

「予習 へのとりくみについて」

	必ず取り組む	まあまあ	あまりしない	ぜんぜんしない
全体	18.1	28.0	31.6	19.7
男	19.8	30.2	26.8	22.1
女	16.8	26.2	35.5	17.8

「どのくらいの時間家で勉強をしますか？ (児童クラブのものも入れていいです)」

	~15分	~30分	~45分	~60分	60分~
全体	9.84	30.1	8.81	42	9.84
男	12.8	31.4	9.3	34.9	10.5
女	7.5	29.0	8.4	47.7	5.6

予習、復習となるとその取り組みに差は表れるものの、宿題への取り組みでは必ず取り組むが85%と高率であり、概ね良好な取り組みであるようです。高学年になればなるほど学習への取り組みは良くなっているようです。

「家でどのくらいテレビゲームやDSなどのゲーム機でのゲームをしていますか？」

(平日)

	0分	1~15分	16~30分	31~60分	60分~
全体	36.3	12.4	21.2	20.2	13
男	26.8	12.8	19.8	22.1	25.6
女	43.9	12.2	22.4	18.7	2.8

(休日)

	0分	1~15分	16~30分	31~60分	60分~
全体	24.9	9.84	16.6	21.8	25.9
男	15.1	4.6	19.8	22.1	38.4
女	32.7	14.0	14.0	21.5	15.9

平日でも、2時間を超えるゲーム時間の子供が数名みられます。ゲームの時間は0分と答える子供が3分の1であるにもかかわらず、その差は大きなものがあります。

休日のゲームの時間は7時間にのぼる子どももいます。一部の子どもかもしれませんが、成長期の子どもの脳への影響を考えると、ぜひその取り組みせ方について、全校で考えていく必要があるのではないかと感じています。

## 【教職員の反省より】

### ◇ 「信頼の泉」

#### 〔地域の方々との連携〕

各学級の年間計画を立案する段階から、地域の方々や、地域の素材を教育活動に活かせる場面を考えてきたことで、タイムリーに関わっていただくことができました。そのような活動や学習を行ったことで、地域を大切にしようとする気持ちが育っていると感じています。同様に、地区の方々にも、子ども達と関わることを楽しんでいただいているのではないかと感じております。長年受け継いできた「子ども獅子踊り」も地区の獅子踊り保存会の大人の方々より関わっていただいたことで、地区の伝統のすばらしさや、地域の方々の思いを感じ地区を好きになる事に繋がっているようです。そのことで、地域をより好きになるとともに、次はこんなところへ行って学びたいなど知的な好奇心が高まっているようです。子ども達のアンケート結果からも、地域の方々との連携は有意義と感じられるようですので、次年度以降もぜひ何らかの形で関わりを深めて行きたいと考えております。

#### 〔挨拶、話し方の指導等〕

挨拶や話し方など、その場に合わせたふさわしい所作ができるような指導に力を入れてまいりました。職員室の出入りや廊下での挨拶や話し方は、上学年になるほど下学年の見本となっています。しかし、廊下を走ってしまう子どもや、場にあわせた声の大きさで話せない子どもなど、我々の指導のあり方を反省し今後の指導の改善につなげる必要があることも見えてきました。また、ルールを守ろうとする意識の向上についても、その指導はさらに改善の余地があるようです。他人が見ているからルールを守るのではなく、自分の中にルールを守ろうとする自分を律する心の育成にさらに取り組んで力を入れてまいります。

#### 〔学校ホームページ〕

学校のホームページを開設しました。学校の情報をタイムリーにお伝えすること、運動会の開催情報など緊急情報を掲載し、必要に応じて知ることができるようにすること、子ども達の活躍の姿を広く広報することなどを目的に開設いたしました。このことにより学校便りと併せ、学校の情報等をお知らせすることができたようです。PTAの情報等の掲載は不十分な面もありましたので、今後の改善点と考えております。今後、保護者の方々、地域の方々の声を集約し、より良い学校ホームページのあり方を模索してまいりたいと思います。

### ◇ 「知の泉」

#### 〔意欲を持って学習に取り組む子ども〕

授業の中で、友人との意見交換が活発になってきたようです。自分の考えを伝えたり、一緒に考えたりする事が日常になってきていると感じられます。わかるまで努力し続けようとする粘り強さも感じられるようになってきました。

子ども達は、目当てがわかり、考える視点が明確となれば意欲的に学習に取り組むという授業づくりの基礎を我々教職員であらためて確認し合いました。

家庭学習への取り組みも多くの子ども達が、積極的になってきているようです。一部のなかなか学習に取り組めない子どもへの学習に関するリズムづくりを今後もすすめてまいりたいと思います。

[ ぐんぐんタイム ] (算数の計算を主とした全校体制での取り組み)

担任外の教員も担任と協力しながら、子ども達が自分の課題に沿った取り組みの中で計算を主とした算数の学習に取り組む時間は、全校体制での取り組みでした。子ども達は与えられた時間の中で、精一杯問題に集中して取り組む姿も見られ、集中力の伸長に繋がるとともに、自分自身の計算に関する課題を客観的に見ることのできる有意義な時間であったようです。今後は、計算ばかりでなく、他教科へも幅を広げながら、子ども達が自分自身の学習への取り組みを振り返り、家庭学習への取り組みの向上に繋がる時間となるよう工夫してまいりたいと考えております。

◇ 「いのちの泉」

[ 自ら取り組み、最後までやり抜く子ども ]

真夏の暑い日も、より良い演奏を求め練習に努力し続けた鼓隊の子ども達の姿からも感じるように、子ども達は大変ねばり強く、そして積極的に活動に取り組む姿が多く見られました。やはりより高い価値を示し続け、どうすればできるのか見通しを持たせることで、子ども達の意欲と、粘り強さがさらに発揮されるようです。我々教師としての子どもへの指導のあり方も今後も学んでいきたいと存じます。

運動会の準備、ましまず発表会の準備等で子ども達自身が見せた成長の姿を振り返らせることを通し、他の場面でも活かせる力となるよう指導の工夫を行いたいと思います。

[ 責任感を持って最後までやり抜く子ども ]

積極的に様々な活動に取り組む子ども達の姿ではありますが、場面によっては指示待ちの姿となっている場面も見られます。しかし、縦わり清掃(異学年での清掃)の場面で見ると、子ども達は自分の考えで動いているようです。教師として、どのような視点を指導しなければならないか再度検討すると共に、子ども達同士で互いに関わる中での自律した姿を活用していきたいと考えております。同様に集団の中で起きた課題を自分事として考えられず、他人事のような態度を取ってしまう場面も見られますので、子ども達同士の話し合いの場面も活用し、自分たちの学校は自分たちの力で良くしていこうとする気持ちを高めてまいりたいと思います。

◇ 「心の泉」

[ 思いやりがあり、助け合う子ども ]

一人ひとりの子ども達のさりげない言葉の中に、優しい思いやりを感じる場面が多く見られました。子ども相手ばかりでなく、困っている大人にも同じような言葉をかけてくれます。高揃の地区で育った子ども達の優しさが感じられます。異学年同士の交流場面でも、上学年の子ども達が下学年を思いやり優しく言葉をかけながら活動を行っています。

しかし、話を聞く場面で、集中して話を聞いたり、友人や上学年の子どもが優しく話をしている場面でも、最後まで聞き続ける事ができなかつたりすることが時折見られます。相手は何を言おうとしているのかに心を寄せて聞くことに力を入れて指導して行きたいと思えます。同様に、話をする方でも、語尾まではっきり話すこと、自分の意見と、事実を分けて話をする事など、国語の時間ばかりでなく、学級の様々な場面を捉えて指導してまいりたいと思います。